

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市宮前スポーツセンター	評価対象年度	令和6年度
事業者名	・事業者名 フクシ・ハリマ・スボ協共同事業体 ・代表者名 福士 昌 ・住所 東京都江東区大島一丁目9番8号	評価者	宮前区役所地域振興課長
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日	所管課	宮前区役所地域振興課

2. 事業実績

利用実績	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)
	6年度	17,626	17,600	21,903	20,198	21,496	21,361	25,624	25,631	20,603	18,028	18,013	22,766	250,849
	5年度	17,916	19,279	19,139	20,370	17,696	22,402	23,726	21,750	17,904	17,827	18,260	20,400	236,669
	4年度	17,785	19,329	19,313	6,643	6,761	6,832	6,922	6,538	6,041	15,467	16,856	18,777	147,264
	3年度	16,492	14,743	13,371	16,018	13,699	13,805	21,462	21,756	13,096	14,534	12,750	14,448	186,174
	2年度	771	0	5,018	10,404	9,478	11,655	12,504	16,530	11,375	9,222	9,684	13,557	110,198
	元年度	22,834	23,173	27,955	31,508	26,051	32,566	25,597	22,721	16,847	24,042	20,970	3,719	277,983
	収支実績	収入	指定管理委託費	35,070,000										
			利用料金収入	30,512,230										
			事業収入他	45,678,460										
			補填金・補償金等	2,138,644										
		収入合計(円)		113,399,334										
		支出	管理運営費	111,772,723										
支出合計(円)			111,772,723											
収支差額(円)		1,626,611												
サービス向上の取組	<p>①坂の上に立地する地理的条件を考慮し、スポーツセンターへ通いやすいよう60歳以上の方が対象の教室受講生に向けて送迎サービスを行い、利便性の向上を図った。</p> <p>②毎週金曜日にバラスポーツデーとして、パラリンピックの種目でもあるポッチャを実施するほか、バラスポーツ体験会や新たにパラ体操を実施するなど、バラスポーツの普及啓発に取り組んだ。</p> <p>③近隣の大蔵中学校の授業の一環として車いすバスケットボールの体験を開催した。</p> <p>④ワンコインで様々なスポーツが楽しめるみやまエスポーツパークを開催した</p> <p>⑤東京2020オリンピック大会種目でもあったボルダリングの普及・啓発にあたり、施設内のボルダリング施設の利用増に向け、チラシ等を行政施設に配架し、利用者増に向けた取組を行った。</p>													

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	利用者満足度	利用者満足度調査を適切に実施しているか	6	3 (×0.6)	3.6
		利用者満足度は向上しているか			
		調査結果の分析を行い、満足度向上のための具体的な取組に反映しているか			
	事業成果	事業実施による成果の測定が適切に行われているか	6	3 (×0.6)	3.6
当初の事業目的を達成することができたか					
<p>【評価の理由】 【利用者満足度】 ①スポーツ教室のアンケートによる能動的な方法、ホームページ、フェイスブック、ご意見箱等による受動的な方法により利用者満足度の測定を行い、収集した意見には、必要に応じて所管課と連携を図り、即時対応を徹底した。施設の運営やスタッフの対応についての市への苦情・クレームの件数は3件あったが、速やかに改善・対応し、トラブルが長期化する事はなかった。教室アンケートの結果では、講師の質について「大変良い」、「良い」が合わせて96%と利用者の満足度は高いと言える。また、対応の可否について検討し、対応可能なものについては迅速に対応するよう努めている。</p> <p>【事業成果】 ①新型コロナウイルスの5類移行(令和5年5月から)後、初めての通年利用となったものの、令和6年10月から屋根の改修工事が始まり駐車場の一部利用が制限された(第1駐車場が平日利用不可・土日祝は5台程度利用可)影響もあり、新型コロナウイルス感染症拡大前の利用者総数には届いていない。しかしながら、空き時間の諸室利用に向け、利用者アンケート等の意見や館内部での様々なアイデア(球技系の種目を中心にとなたでも参加できる「フリー開放」、夏休み限定の体育館遊び、フットサルの個人利用「個サル」、土日のキャンセルした諸室を活用した宮スポ球技大会、短時間の諸室の団体貸など。)を活用し、参加者増に向けた積極的な取組が行われた。 <実績>スポーツデー 目標値28,750人→実績21,021人(対目標値73.1%)、トレーニング室 目標値67,000人→実績60,414人(対目標値90.1%)、スポーツ教室 目標値39,000人→実績32,118人(対目標値82.3%)、総利用者数 目標値336,000人→実績250,849人(対目標値74.6%)</p>					
収支計画・実績	効率的・効果的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	6	3 (×0.6)	3.6
		支出に見合う効果は得られているか			
		効率的な執行等、経費削減の具体的な取組は為されたか			
	収入の確保	計画通りの収入が得られているか	6	3 (×0.6)	3.6
		収入増加のための具体的な取組が為されているか			
	適切な金銭管理・会計手続	収入と預かり金等を区別し、適切に管理を行っているか	4	3 (×0.6)	2.4
事業収支に関して適正な会計処理が為されているか					
<p>【評価の理由】 【効率的・効果的な支出】 ①光熱水費の削減に向け、大体育室では15分以上空きがある場合消灯するなどコスト削減に努めるほか、館内の一部スペースをLEDに変更し、電気料金の削減に努めた。</p> <p>【収入の確保】 ①施設稼働率については目標値を上回る結果となり、収入についても、駐車場の一部利用が制限される中、前年度と比較して増加した。要因としては、利用者アンケート等の意見や様々なアイデアを活用し、収入増加に向け様々な新たな取組(フリー開放(球技)、個人フットサル、宮スポ球技大会など)が行われたことなどがあげられる。 <実績> 利用料金収入 目標値30,046,000円→実績30,512,230円、施設稼働率:大体育室 目標値95%→実績95%、小体育室 目標値91%→実績95%、研修室1 目標値67%→実績69%、研修室2 目標値55%→実績57%</p> <p>【適切な金銭管理・会計手続】 ①売上及び釣銭等現金の確認については、必ず2名以上で行うなど、確実に実施している。 ②過去10年分設備専用利用料の過誤徴収については、前指定管理者及び利用団体と迅速に調整の上、全て返金を行った。(件数:449件 団体・個人数:84件 584,740円)</p>					

サービス向上及び業務改善	利用料金収入 目標値	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	6	3 (×0.6)	3.6
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	適切なサービスの提供(トレーニング室を含む個人開放事業)	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	6	3 (×0.6)	3.6
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	適切なサービスの提供(教室事業)	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	6	4 (×0.8)	4.8
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	適切なサービスの提供(地域との連携、提案事業等)	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	6	4 (×0.8)	4.8
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
業務改善によるサービス向上	実施計画と実際のサービス提供に「ずれ」が生じている場合、原因究明に必要な取組が為されているか	8	3 (×0.6)	4.8	
	業務改善が必要な場合に、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われているか				
	業務改善の取組によって具体的な効果があらわれたか				
利用者の意見・要望への対応	利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか	8	5 (×1.0)	8	
	意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)				
	利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか				
<p>(評価の理由) 【利用料金収入 目標値】 ①利用料金収入の確保に向け、球技系の種目を中心に誰でも参加できる「フリー開放」や、フットサルの個人利用の「個サル」、土日にキャンセルした時間帯を活用した宮スポ球技大会など、積極的に収入確保に向けた取組みを行い、駐車場の利用が一部制限される中、利用料金収入は目標値を上回った。 利用料金収入 目標値30,046,000円→実績実績30,512,230円 【適切なサービスの提供(トレーニング室を含む個人開放事業)】 ①トレーニング室の利用者向けに、1回につき1ポイント付与(雨の日・雪の日の来館時は1ポイント付与)、また、(駐車スペースが限られる中)電車・バスで来場すると1ポイント付与するサービスを引き続き行うなど、新規利用者の取込及び継続利用の促進に努めた。※30ポイントが貯まると1回無料 ②ネコの目システムの活用による混雑状況の配信を引き続き行うなど、利用者の利便性向上に繋がった。 ③区内のスポーツセンターで唯一設置されているボルダリングを常時開放し、スポーツの日イベントや宮スポフェスタにおいて無料体験会を実施するほか、館独自でチャレンジを作成し利用者増に向けた取組を引き続き行うなど、普及・振興に繋がった。 【適切なサービスの提供(教室事業)】 ①メールでの申し込みや、インスタグラムを活用した広報を引き続き行うなど、利用者の利便性の向上及び利用促進に向けた取組みを行った。 ②気軽な運動参加と施設の有効活用を図るため、当日参加型のショートタイムを引き続き実施した。 ③スポーツの日記念事業では、昨年度に引き続き、神奈川県「かながわアスリートネットワーク協働事業」を積極的に活用し、北京五輪銀メダリストによる体操教室を実施するなど、区民がプロアスリートと触れ合う機会を提供した。 ④スポーツ教室に新メニューを加えるなど、利用者ニーズの即した取組を行った。 【適切なサービスの提供(地域との連携、提案事業等)】 ①犬蔵小学校で活動している寺子屋「いぬくらっ子」と共催で「寺子屋スポーツデー」を開催するほか、南菅生自治会と協働による防犯夜間パトロール、市内中学校の職場体験、犬蔵小学校の生活科町探検の受入れなどを行った。また、日頃から館の利用がある地域のサッカークラブからの打診を受け、川崎市立白幡台小学校・犬蔵中学校(富前区)出身の斎藤光毅選手が出場したパリ2024オリンピックのサッカーの試合について、スポーツセンターを開放し深夜でのパブリックビューイングを3回開催した。 【業務改善によるサービス向上】 ①毎週の定期訪問、毎月の定例会等を通じて課題を共有し、改善に向け取組みを行った。 【利用者の意見・要望への対応】 ①利用者アンケート、教室参加者アンケート、利用者懇談会など様々な方法で利用者の意見を聴取し、それらの意見に迅速かつ真摯に対応することで、大きなトラブルもなく、円滑な利用に繋がった。また、利用者アンケートの回答(フットサルで利用したい、短時間で利用したい、個人でも出場できる大会を開催して欲しいなど)を基に、「個サル」や「フリー開放」、「スポーツセンター独自の卓球大会」を実施するなどアンケートを活用した取組も行われるとともに、収入増加にも繋がった。さらに、日頃から館の利用がある地域のサッカークラブからの打診を受け、パリ2024オリンピックのサッカーの試合についてスポーツセンターを開放し深夜でのパブリックビューイングを3回開催した。 ②令和6年10月から実施している屋根の改修工事に伴い、様々な事象(粉塵の飛散、漏水、臭気など)が発生したものの、常に利用者の目線に立ち、迅速かつ真摯に対応することで、長期間にわたる工事の中でも、大きなトラブルもなく、適切に運営することができた。 <実績>年間苦情件数 目標値10件以内(うち利用受付・収受に関するもの0件)→3件</p>					
組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	8	3 (×0.6)	4.8
	連絡・連携体制	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	再委託管理	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	8	3 (×0.6)	4.8
	安全・安心への取組	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)			
	コンプライアンス	個人情報保護、その他の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか			
	職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	4	3 (×0.6)	2.4
環境負荷の軽減	環境に配慮した調達や業務実施が行われているか				
<p>(評価の理由) 【連絡・連携体制】 ①所管課への連絡や事故・トラブルなどの報告文書の提出は適切に行うことができた。 【担当者のスキルアップ】 ①各種資格の取得・更新やふれあいネット更新に伴う団体利用の研修を受講するなど取組がなされた。 【安全・安心への取組】 ①防災訓練等の実施や危機管理マニュアル等を作成を通じて、非常時への対応に備えた。 ②感染症対策として、各居室の利用者が手に触れる箇所を2週間に一度、抗菌・抗ウイルスコーティング剤の塗布を実施した。 【コンプライアンス】 ①コンプライアンス研修を実施し、法令を遵守し公正かつ誠実な事業運営に取り組んだ。 【環境負荷の軽減】 ①ペットボトルキャップ回収によるフクチン寄付やコンポスターを設置し生ゴミ等を肥料して活用した。 ②館内の一部スペースをLEDに変更し、光熱水費の削減に努めた。</p>					

適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	6	3 (×0.6)	3.6
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか。			
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか			
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか	6	3 (×0.6)	3.6
	外構・植栽管理	外構の植栽を適切に管理(草刈、剪定、害虫駆除等)しているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか			
【評価の理由】 【施設・設備の保守管理】 ①毎月の設備巡回点検や日々の巡回等を通じて修繕箇所を把握し、簡易な応急処置は当日に対応、その他不具合項目は館内で共有し、保守業者と連携のうえ、館の運営には支障は出なかった。また、修繕については中長期修繕計画を活用しながら優先順位をつけて行った。 【清掃業務】 ①午前中は清掃スタッフによる開館前・開館後の集中清掃を実施、午後は運営スタッフによる巡回を行い、快適な環境づくりを行った。 【外構・植栽管理】 ①植栽管理専門会社による定期作業に加え、職員による日常的な作業を行うことにより、美観維持を図った。 【備品管理】 ①備品管理においては写真付きの台帳を作成し、備品の所在が確認できるなど、適正な備品管理を行った。					

4. その他加算

分類	項目	着眼点			評価点
その他加算	市の政策課題への取組	川崎市スポーツ推進計画やかわさきパラムーブメント推進ビジョンに基づく取組の推進、及び地域包括ケアシステムの構築に向けた健康づくりへの取組の推進			5.0
	【評価の理由】 【市の政策課題への取組】 ①毎週金曜日にユニバーサルスポーツデーとして、ポッチャ体験を開催した(年:353名参加)。また、愛児園の子ども達をポッチャ体験に招待しポッチャ大会の参加に繋げた。 ②犬蔵中学校の生徒向けに、車いすバスケットボールの体験教室を開催した。(228名参加) ③4月のパラスポーツ体験会では、卓球バレー、ポッチャ、フライングディスクを、10月のスポーツの日記念事業においてフライングディスクを、3月の宮スポフェスタではブラインドサッカー、ゴールボールの体験会を行った。また、2月にはポッチャ大会を開催し12チームが参加した。 ④パラスポーツの指導者育成に向け、川崎市初級障害者スポーツ指導者養成講習会を1名が受講した。 ⑤パラ体験を実施し、障がいをお持ちのお子さんが気軽に参加できる場所の確保に繋げた。 ⑥地域のサッカークラブの打診をうけ、スポーツセンターをパブリックビューイングの会場として開放するなど、スポーツを観る機会の創出に繋げた。				

5. 総合評価

評価点合計	70.6	評価ランク	B
-------	------	-------	---

※評価ランクの適用基準

評価ランク	適用基準(評価点合計)
A	総合評価の結果、特に優れていると認められる。(80点以上)
B	総合評価の結果、優れていると認められる。(70点以上80点未満)
C	総合評価の結果、適正であると認められる。(60点以上70点未満) ※標準点
D	総合評価の結果、改善が必要であると認められる。(50点以上60点未満)
E	総合評価の結果、問題があり適切な措置を講じる必要がある。(50点未満)

6. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

①新型コロナウイルス感染症拡大前の利用者数に届いてはいないものの、様々な取組を行い収入増加に繋げた。 ②本市のスポーツチーム等の紹介、パブリックビューイングを実施するなど公共施設としてのスポーツの普及を行うほか、小学生の生活科町探検、中学生の職場体験の受入れ、近隣自治会との防犯パトロールなどスポーツ分野以外にも地域と連携した取組を行い、地域活動に貢献している。 ③利用者アンケート等を積極的に活用し、空き時間の諸室利用をするため、様々な取組み(球技系の種目を中心にとなたでも参加できる「フリー開放」、夏休み限定の体育館遊び、フットサルの個人利用「個サル」、土日のキャンセルした諸室を活用した宮スポ球技大会、短時間の諸室の団体貸しなど)を行い利用者目線に立った改善を行うほか、収入確保にも繋げた。 ④様々なイベントやアイデアを活用し、パラスポーツの普及・振興に繋げた。 ⑤近隣の犬蔵小学校で活動している寺子屋「いぬくらっ子」と共催で「寺子屋スポーツデー」を開催したほか、犬蔵中学校等と連携を図り、パラスポーツに触れる機会を提供した。 ⑥スポーツの日記念事業において、北京五輪銀メダリストによる体操教室を実施するなど、区民がプロアスリートと触れ合う機会を提供した。 ⑦館内の一部スペースをLEDに変更し、電気料金の縮減及び環境負荷の軽減に繋げた。
--

7. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

①料金面など公共施設であることの優位点を活かしながら、公共施設の役割である市民の健康維持・増進、気軽にスポーツに親しめる場の提供づくりに向けた運営を、指定管理者の持つノウハウを最大限活用しながら行うこと。 ②地域コミュニティの場として、健康維持やスポーツに興味の持てるような運営に取組むこと。 ③コロナ時に行った様々な取組みについても適宜活用しながら運営すること。 ④総合型地域スポーツクラブや地域のスポーツ団体なども積極的に連携し、地域に根付いた運営を行うこと。 ⑤施設オープンから約20年を迎えることを考慮し、区民の方々が安全に安心して快適に施設を利用出来るよう、引き続き所管課と連携し、計画的な保守管理を行い、施設の維持管理に努めること。 ⑥第2期川崎市スポーツ推進計画やかわさきパラムーブメント推進ビジョンに基づく取組の推進、地域包括ケアシステムの構築に向けた健康づくりへの取組みの推進を継続して行うこと。 ⑦新型コロナウイルス感染症拡大前の利用者総数には届いていないため、参加者増に向けた取組を行い、引き続き収入増加に繋げること。 ⑧送迎サービスの新たな展開やパラスポーツデーの利用者拡大に向けて対策を講じること。 ⑨区内で唯一設置されているボルダリングを有効活用した取組を行うこと。
